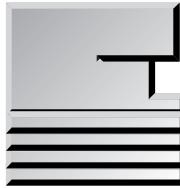




いのちに
まちづくり
やさしい



Neko-Dasuke <http://nekodasuke.main.jp/>

港区・職員向け 地域猫活動研修会



令和2年10月21日、港区保健所会議室で「職員向け地域猫活動研修会」開催。主催はみなと保健所生活衛生課。

同区には未だ

動物愛護管理の専任部署はありませんが、飼い主のいる愛護動物は本庁の保健所が担当。地域密着の地域猫対策は区内五つの支所の協働推進課が担当。

この日の「職員向け」の対象は部署に垣根がなく、まちづくりや公園管理の指定事業などの多種の部門からのご参加でした。地域猫の言葉は聞いているが、現場からの報告や解説、情報提供などを初めて体験する職員が多数でした。

コロナ禍のため、ねこだすけでは原則として年内の密の恐れのある講座や集会などを控えていますが、本日は一般参加は無く、区役所の職員研修ということから、代表の工藤が講師で参加させて頂きました。



コロナ禍で講座や集会、打ち合わせなども減り、苦情対応の現場行動の機会が増えました。

公園の茂みの猫ハウス対策。役所ともご相談し、多少の工夫を施した後、ハウスは現状維持です。

ねこさまは塀の上から様子眺め。



折角動物愛護法の、殺傷や遺棄、衰弱虐待ほかの罰則が強化されたにも関わらず、各関連行政などの同法の執行官や担当者に周知されているとは言えません。

元国会議員で元警察官僚の大物実力者さまと共に、そのような事柄も含めたお願いやお話をすすみました。

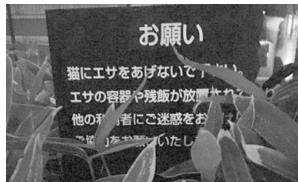
NPO ねこだすけ 〒160-0015 東京都新宿区大京町5-15-203 Tel&Fax.03-3350-6440

たくさんのご寄付を誠にありがとうございました。

よそ様と同じに、この御時世、ねこだすけの財政も心もとなくなりました。

会報を役所にも送付していましたが、郵送料削減の為一度は中止を考えました。

書き損じはがきや切手のご支援をお願いする目的で、切手とはがきのクラウドファンディングを始めたところ、10月2日から17日までの約2週間で目標の125%、はがきを切手に交換した、切手の総額が¥85,873円分にのぼり役所宛も含めた郵送料のすべてに充てられました。心より感謝申し上げます。詳しくはホームページに。<http://nekodasuke.main.jp/kitte.html>



超大手の管財や警備企業が管理し、終日開放されている大規模商業地の緑道や緑地に、「餌やるな」の掲示。その先にいつもの餌場があり、調査を始めました。「企業の社会的責任、CSR」の部署が大企業にはあるので、先ずはいつもの掲示撤去のお話し合い、と計画したのですが少し事情が異なりました。

現場管理者に、猫の繁殖制限手術済が既に伝わっていること。「恣意的=勝手気呂」な餌やりさんは決してなくならないことも理解し、数本の掲示を外すかどうかの権限が現場にない、などが企業側の都合です。

猫側の事情は、緑地で食事中の後ろの、出入りができる塀一枚隔てた民家の玄関先に、雨風除けを施した常設の餌場がありました。

後日民家宅を訪問した際に、猫たちの食事やお世話や見守りを続けられているとのことです。

猫たちは、いつもの緑地の餌場でなくても食事ができるのでした。



令和2年9月、一般社団法人ヒューマン＆アニマル・ライツ機構の名誉総裁で、ロビイスト猫のジャンヌ・ダルク・オグラちゃんと、ねこだすけ代表理事工藤久美子も一緒に、小泉進次郎環境大臣にご挨拶をさせていただきました。（ねこだすけニュース53号に一部を既報）

